



## 建築技術性能証明書

技術名称：スマートベース工法

一定着金物とねじ節鉄筋 SD490 を用いた鉄骨露出型柱脚工法－（改定3）

申込者：東京鉄鋼株式会社 代表取締役社長 吉原 每文

栃木県小山市横倉新田 520 番地

（本技術の開発は、株式会社大林組と共同で行われたものである。）

技術概要：本技術は、JIS G3112 に適合するねじ節鉄筋 SD490 をアンカーボルトとし、その所定位置に機械式定着金物を結合したものを基礎に接続する鉄筋コンクリート造柱型部に配置することによって鉄骨露出型柱脚を構築する工法である。

開発趣旨：本技術は、従来の鉄骨露出型柱脚よりも施工性を向上させ、かつ、設計で要求される柱脚部の剛性、耐力および変形性能を確保することを意図して開発したものである。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

平成 28 年 4 月 14 日

一般財団法人 日本建築総合試験所

理事長 文 三



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料 1：スマートベース工法 性能証明のための説明資料

資料 2：スマートベース工法 設計施工要領書

資料 1 には、本技術の目標性能を確認した実験資料がまとめられている。

資料 2 は本技術の設計施工要領書であり、適用範囲、使用材料、設計方法、施工手順などが示されている。

また、付録として、設計例、既往文献などの関連資料が示されている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「スマートベース工法 設計施工要領書」に従って設計・施工された鉄骨露出型柱脚部は、同要領書で規定する回転剛性、終局耐力および変形性能を有し、かつ、同柱脚部の短期許容耐力に達する荷重を繰り返し経験しても修復性を損なうひび割れを残留させる等の損傷を起こさない。